



# かまだようちえん

令和6年10月-2



## 芋ほりをしました！（10月2日）

年長児が5月に苗さしを教えていただき、水やりをして育てていたサツマイモ。（古川さんにたくさんお世話になりながら、、、）この日はよく晴れて絶好の芋掘り日和。

古川さんに、芋の掘り方を教えてもらって、年長児と年中児が土を掘ると、芋の色が少し見えてきました。「ここや」「みえてきた」



と、掘る手にも力が入ります。すぐに抜ける芋もあればなかなか抜けない芋もあり、“自分一人で掘りたい”気持ちもありますが、ここは友達のを借りて、一緒に掘り進めました。そうすると、一人で掘っていたときよりも大きな感動と喜びを味わっていました。



と、掘る手にも力が入ります。すぐに抜ける芋もあればなかなか抜けない芋もあり、“自分一人で掘りたい”気持ちもありますが、ここは友達のを借りて、一緒に掘り進めました。そうすると、一人で掘っていたときよりも大きな感動と喜びを味わっていました。

同年代の友達と一緒に自然に触れることや栽培活動の喜びを分かち合う姿は、やはり、集団でこそ学び合えることですね。

## メディアスペース、鎌田中学校の校舎の探検に行ってきました！（10月22日）

年少組、年中組の子どもたちが、鎌田中学校のメディアスペースに行きました。兄や姉がいる子は小学校や中学校を身近に感じている子もいますが、初めて敷地に入る子もいます。交流センターの方々と教頭先生にご挨拶をして、興味のある絵本を見たり、読んでもらったりして過ごしました。その後は、中学校の中を歩かせてもらったり、広い部屋で走らせてもらったり、吹き抜けの2階から「おい」「やっほー」の呼びかけに交流センターの方が手を振ってくださると大喜びの子どもたち。中学校の広い部屋、



長い廊下、たくさんの図書、見たことのない机やパソコンを見回して、不思議そうに見ていました。修学旅行などで生徒さんがいないことに気づいた子は「お兄ちゃんやお姉ちゃんたちが勉強している??」とこれまた不思議顔でした。帰りの挨拶では、教頭先生に「絵本が楽しかった」とうれしい気持ちを自分なりの言葉で伝え、思いを聞いてもらう嬉しさも体験しました。帰り道、地域の方にヒヨコを触

らせてもらい、また、庭を歩かせていただきました。帰り道、「全部楽しかったわ」と何度も話す子もいました。楽しかったことは家族に聞いてもらったり何度も思い出したりすることでより心に残ると聞きます。子どもたちが何度も思い出して、交流センターや中学校を身近に感じて親しんでいってほしいです。



